



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第28号

令和5年12月12日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 地域に支えられて…

先週の火曜日から木曜日までの3日間、2年生が「職場体験学習」を実施し、愛西・津島市内の協力してくださる事業所に出かけました。以前にもお伝えしたように、2年生の子たちはさまざまな事前準備をして当日に臨み、多くの事業所の方から「すごくよく頑張ってくれる」「ぜひウチで働いてほしい!」というお言葉をいただくことができていました。今回は、生徒の奮闘する輝く様子を、たくさんの写真でお伝えします。





ご覧いただいたように、どの子ども学校ではなかなか見せることがない真剣な表情、素敵な笑顔で、お世話をしてくださった事業所の方のおかげで充実した時間を過ごせたことが伝わったことと思います。

活動期間中、学校に戻ってきた生徒は、連日「あんなことがあった」「明日はこんなことをやるみたい」と目を輝かせて次々と話す様子が見られたり、体験前までは私たち教員に、友達と話すような言葉遣いで気軽に話しかけていた生徒が、体験を経て「～でいいですか？」と丁寧語を使って話す様子があったりして、今回の経験を通じて、たくさんの学び・成長があったことを日々実感しています。

今回お世話になった多くの地域の方への感謝を忘れずに、自分たちも地域に貢献できる人へと成長することで、しっかりと「恩返し」をしていってほしいと願います。2年生の子たちを応援してくださった保護者・地域の皆様、ご協力ありがとうございました！

♪「つらい出来事」を受けて…

報道でも大きく取り上げられた先日の半田市での出来事、さらに校内でもつらい思いをする子が出る残念ながら出来事が最近起こっていることを受けて、先週の金曜日に全校の子どもたちに以下のような話をしました。当然、学校という場所が安心・安全な場所であるよう、教職員一同今後も精一杯努めていきますが、ぜひご家庭でも、子どもたちがよりよい学校生活をつくっていくような成長が可能となるよう、学校とスクラムを組んでご支援ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【全校生徒への話より】

- 学校という大勢の人がいる場所で「もめごと」や「トラブル」を完全になくすことはできないが、集団の力でなくす努力はできる。そのためには、周りで起きたトラブル、困っている人がいるときには、当事者だけでなく、周りのみんなも協力して、早めに相談や連絡をしてほしい。そのためには、タブレットで毎日やっている「心のアンケート」なども、どんどん相談や連絡に使ってほしい。
- 今の SNS 使用が盛んな時代に、トラブルが起きた時、特に気を付けてほしいことが3つある。
 - ① 「言い換え」をしない（出来心で紙を燃やした生徒＝「アイツは放火魔」のようなこと）
 - ② 「拡散」をしない（話を拡めることで、関係ないことも付随して次々に伝わること）
 - ③ 「悪用」をしない（失敗した相手の立場がより悪くなるよう、機会を利用すること）
- 学校は決していいことばかりの場所ではないけれど、
 - ・ 傷ついた子がいれば、みんなで心を癒して、守ってあげられる場所
 - ・ 傷つけてしまった子がいれば、みんなで未熟さを育てられる場所

になるよう、これからもみんなで協力をして、よりよい学校をつくってほしい。